【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【公開番号】特開2016-158666(P2016-158666A)
【公開日】平成28年9月5日(2016.9.5)
【年通号数】公開・登録公報2016-053
【出願番号】特願2015-37334(P2015-37334)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/00　３２０Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成30年2月6日(2018.2.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
放射線検出器の種別情報に放射線撮影に係る情報が関連付けられた情報である撮影情報が登録済みの放射線検出器の撮影情報の一覧を提示して前記一覧からの選択を受け付ける選択画面を表示部に表示させる表示制御手段と、
ある放射線検出器の登録の際に、前記選択画面を介して選択された撮影情報を、前記ある放射線検出器の前記放射線検出器を一意に識別可能な情報である固有情報に関連付ける関連付け手段と、
を有する制御装置。
【請求項２】
前記ある放射線検出器の種別情報と前記選択された前記撮影情報に関連付けられた放射線検出器の種別情報とが同一であるか否かを判定する判定手段を更に有し、
前記関連付け手段は、前記判定手段により同一であると判定された場合、前記選択された撮影情報を前記ある放射線検出器の固有情報に関連付ける請求項１に記載の制御装置。
【請求項３】
前記判定手段により同一でないと判定された場合、前記表示制御手段は、前記ある放射線検出器の種別に対応する撮影情報の作成画面を表示させ、
前記作成画面を介して受け付けた設定に基づいて、前記ある放射線検出器の種別に対応する撮影情報を作成する作成手段を更に有し、
前記関連付け手段は、前記作成手段により作成された撮影情報を前記ある放射線検出器の固有情報に関連付ける請求項２に記載の制御装置。
【請求項４】
前記選択された撮影情報に基づいて、前記ある放射線検出器の固有情報に関連付ける撮影情報を作成する作成手段を更に有し、
前記関連付け手段は、前記作成手段により作成された撮影情報を前記ある放射線検出器の固有情報に関連付ける請求項１に記載の制御装置。
【請求項５】
前記作成手段は、前記選択画面を介して選択された全ての撮影情報に前記ある放射線検出器の種別情報が含まれているか否かに基づいて、前記ある放射線検出器の固有情報に関連付ける撮影情報を作成する請求項４に記載の制御装置。

【請求項６】
ある放射線検出器の登録の際に、前記ある放射線検出器の種別情報を特定する特定手段と、
放射線検出器の種別情報に放射線撮影に係る情報が関連付けられた撮影情報として、前記特定手段により特定された種別情報を含む撮影情報が作成済みであるか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段により作成済みであると判定された場合、前記特定された種別情報を含む撮影情報を検出する検出手段と、
前記検出手段により検出された撮影情報と、前記ある放射線検出器の前記放射線検出器を一意に識別可能な情報である固有情報とを関連付ける関連付け手段と、
を有する制御装置。
【請求項７】
前記判定手段により作成済みでないと判定された場合、前記特定された種別情報を含む撮影情報の作成画面を表示部に表示させる表示制御手段と、
前記作成画面を介して受け付けた設定に基づいて、前記特定された種別情報を含む撮影情報を作成する作成手段と、
を更に有し、
前記関連付け手段は、前記作成手段により作成された撮影情報と、前記ある放射線検出器の固有情報とを関連付ける請求項６に記載の制御装置。
【請求項８】
前記作成手段は、前記判定手段により作成済みでないと判定された場合であって、かつ、撮影情報の作成規則が予め定められている場合、前記特定された種別情報を含む撮影情報を前記作成規則に基づいて作成する請求項７に記載の制御装置。
【請求項９】
前記関連付け手段は、前記関連付けにおける関連付け規則が予め定められている場合、前記検出された撮影情報と、前記ある放射線検出器の固有情報とを前記関連付け規則に基づいて関連付ける請求項６に記載の制御装置。
【請求項１０】
前記特定手段は、前記ある放射線検出器の記憶領域に代替機情報が記憶されていない場合、前記ある放射線検出器の種別情報を特定し、前記代替機情報が前記記憶領域に記憶されている場合、前記代替機情報に基づいて代替対象の放射線検出器を特定し、
前記検出手段は、前記特定手段により代替対象の放射線検出器が特定された場合、前記特定された放射線検出器の固有情報に関連付けられている撮影情報を検出する請求項６乃至９の何れか１項に記載の制御装置。
【請求項１１】
前記表示制御手段は、使用不可になった放射線検出器の種別情報及び関連付けられている撮影情報を含む記録情報が前記制御装置の記憶領域に記憶された場合であって、かつ、前記放射線検出器の種別情報と前記特定された種別情報とが同一である場合、前記記録情報を提示する記録情報画面を前記表示部に表示させ、
前記検出手段は、前記記録情報画面を介して受け付けた指示に応じて、前記記録情報に含まれる撮影情報を検出する請求項７に記載の制御装置。
【請求項１２】
前記撮影情報は、放射線検出器の種別情報に、前記放射線撮影に係る情報として撮影条件に関する情報又は画像処理条件に関する情報のうち少なくとも何れかが関連付けられた情報であり、
前記固有情報は、前記放射線検出器のシリアルナンバーである請求項１乃至１１の何れか１項に記載の制御装置。
【請求項１３】
制御装置が実行する制御方法であって、
放射線検出器の種別情報に放射線撮影に係る情報が関連付けられた情報である撮影情報

が登録済みの放射線検出器の撮影情報の一覧を提示して前記一覧からの選択を受け付ける選択画面を表示部に表示させるステップと、
ある放射線検出器の登録の際に、前記表示された選択画面を介して選択された撮影情報を、前記ある放射線検出器の前記放射線検出器を一意に識別可能な情報である固有情報に関連付けるステップと、
を含む制御方法。
【請求項１４】
制御装置が実行する制御方法であって、
ある放射線検出器の登録の際に、前記ある放射線検出器の種別情報を特定する特定ステップと、
放射線検出器の種別情報に放射線撮影に係る情報が関連付けられた撮影情報として、前記特定ステップにより特定された種別情報を含む撮影情報が作成済みであるか否かを判定する判定ステップと、
前記判定ステップにより作成済みであると判定された場合、前記特定された種別情報を含む撮影情報を検出する検出ステップと、
前記検出ステップにより検出された撮影情報と、前記ある放射線検出器の前記放射線検出器を一意に識別可能な情報である固有情報とを関連付ける関連付けステップと、
を含む制御方法。
【請求項１５】
コンピュータに、
放射線検出器の種別情報に放射線撮影に係る情報が関連付けられた情報である撮影情報が登録済みの放射線検出器の撮影情報の一覧を提示して前記一覧からの選択を受け付ける選択画面を表示部に表示させるステップと、
ある放射線検出器の登録の際に、前記表示された選択画面を介して選択された撮影情報を、前記ある放射線検出器の前記放射線検出器を一意に識別可能な情報である固有情報に関連付けるステップと、
を実行させるためのプログラム。
【請求項１６】
コンピュータに、
ある放射線検出器の登録の際に、前記ある放射線検出器の種別情報を特定する特定ステップと、
放射線検出器の種別情報に放射線撮影に係る情報が関連付けられた撮影情報として、前記特定ステップにより特定された種別情報を含む撮影情報が作成済みであるか否かを判定する判定ステップと、
前記判定ステップにより作成済みであると判定された場合、前記特定された種別情報を含む撮影情報を検出する検出ステップと、
前記検出ステップにより検出された撮影情報と、前記ある放射線検出器の前記放射線検出器を一意に識別可能な情報である固有情報とを関連付ける関連付けステップと、
を実行させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、本発明の制御装置は、放射線検出器の種別情報に放射線撮影に係る情報が関連付けられた情報である撮影情報が登録済みの放射線検出器の撮影情報の一覧を提示して前記一覧からの選択を受け付ける選択画面を表示部に表示させる表示制御手段と、ある放射線検出器の登録の際に、前記選択画面を介して選択された撮影情報を、前記ある放射線検出器の前記放射線検出器を一意に識別可能な情報である固有情報に関連付ける関連付け手

段と、を有する。